

擧

～けやき～

成田市立中台中学校 学校だより

文責：内田 淳

令和6年 12月20日(金) Vol.33

学校教育目標 『自ら学び、豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成』

「仲間も自分も大切に」「感動・感謝を大切に」
「団結・協力を大切に」「命を大切に」



【ホームページへ】

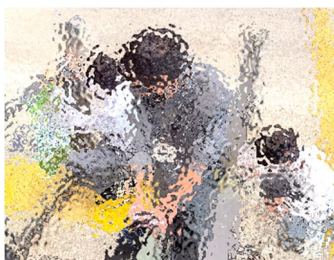
世のため、人のため、自分のため

12日(木)、13日(金)は、2年生による職場体験。前日の最終打合せでの様子を見ると、期待や、緊張、不安など様々な気持ちが渦を巻いているようでした。コロナ禍などのためにこれまで実施できなかった行事ですが、おかげさまで大きなトラブルもなく、それぞれの事業所で、現場のプロの方々から支えられながら、しっかりと学ぶことができましたようです。

【人知れず取り組む】



【就労支援事業所では、細かい部品に接着剤を塗りました】



【駅アナウンスの他に、設備の清掃などに取り組みました】



【お土産用の箱をいくつも折って準備する、お菓子屋さんの2人】



【養魚場では、水槽の周りの落ち葉を拾って集めます】

どの事業所でも、清潔で、商品が見やすい位置にあり、居心地よく過ごせる状態が、当たり前のように保たれています。

しかしそれは、自然にそうだったのではなく、誰かがそうしてくれたから。



【開店直後のスーパーでは、全力で品出し。店内を移動中】



【近隣の公園に出張して、看板を付けています】



【スポーツ用品店も、開店直後は商品の整理から始まります】

その快適さ・心地よさの裏には、必ず、整えてくれている誰かがいるのです。

今回の職場体験では、生徒たちが、その「誰か」になる機会を得ました。このときに生徒たちが整えたものが、きっと誰かの使いやすさや居心地のよさにつながっているはず。今後、買い物に行ったときなどに、陳列の様子や清掃の状況などにも、気付くことができるようになったかもしれません。

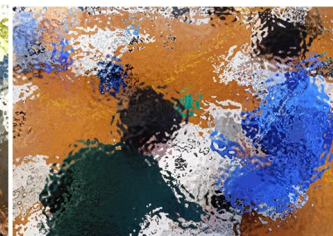
【子どもとともに】



【幼稚園のお買い物ごっこ】



【小学校の業間休み】



【小学校での書き初め練習会】



【全力で遊ぶ保育園児】



【保育園で、みんなで給食】

園児も児童も大喜びで、話しかけたり甘えてみたりと、いろいろな表情を見せてくれました。対する生徒は、緊張と、幼い子どもの高揚感への戸惑いを見せつつも、やがて、手を取って一緒に走ったり、学習支援をしたりしました。

教員不足が叫ばれる中、どのような形であれ、学校現場に関わろうとする若者には、エールを送らずにはられません。子どもたちの成長や頑張る姿、そして、心が通じ合った喜びを、いつまでも覚えていてほしいものです。

【プロから学ぶ】

様々な事業所に、プロフェッショナルがいました。それぞれの技は、練習したり、誰かから受け継いだり、真似たりして、様々な努力を経て身に付けてきたのでしょうか。その様子を見た生徒たちも「おお…」と嘆息したり、「なるほど」と頷いたり、メモを取って熱心に聞いたりして、いい学びを得ました。



【消防署では署員の方の動きを模倣して、とにかくやってみます】



【ホテルの方の優雅な手つきに見とれながらもしっかり学ぶ】



【プロのアナウンサーから「自分の名前をはっきりとね」とのアドバイス】



【ブラッシングを美容師の方から教わりました】

【任される】



【何と郵便ポストの塗り替えを任された郵便局の2人】



【染め粉の調合を丁寧に教えてくれた美容師さん】



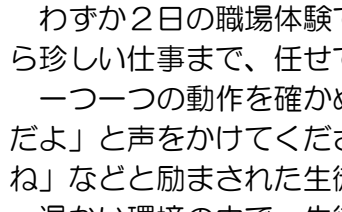
【図書館では、実際に貸出業務を担当し、ピットスキャン】



【公民館では、職員の方と、市民講座の企画を話し合い】



【観光協会の窓口を担当。お客様を元気にご案内できたかな】



わずか2日の職場体験ですが、各事業所のご配慮のもと、見慣れた業務から珍しい仕事まで、任せてくださいました。

一つ一つの動作を確かめ、緊張している生徒に「大丈夫だよ」「その調子だよ」と声をかけてくださる方もいました。一方で、「挨拶をもっと元気にね」などと励まされた生徒もいました。

温かい環境の中で、生徒たちは、働くことの責任の一端に触れさせていただき、いい時間を過ごすことができました。

【安全と幸せの食卓】



【お昼時、次々に運ばれる食器を洗う、鰻屋さんの流し場】



【「うなそばセット」を頼んだら、運んできてくれました】



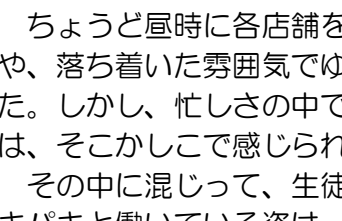
【鰻屋さんの昼時は、生徒も食器を片付けたり運んだり、大変】



【カフェではコーヒーとデザート注文。「お待ちどおさま!」】



【パン屋さんは仕込みの最中。生地をこねたり具材を切ったり】



ちょうど昼時に各店舗を訪問しました。客足が途絶えずめまぐるしいお店や、落ち着いた雰囲気ゆっくりと食事を楽しんでいるお店など、様々でした。しかし、忙しさの中でも、お客さんを尊重し、もてなそうとする姿勢は、そこかしこで感じられました。

その中に混じって、生徒たちがエプロンやユニフォームを身に付けて、テキパキと働いている姿は、清々しく感じました。2日間の体験でしたが、一人ひとりが、店員さんと同じように、生き生きと活動していました。

この学習の目的には、「働く人への感謝の気持ちを身に付けること」や、「責任感、礼儀を身に付けること」も掲げられています。社会を支える産業や公共サービスに携わる人と交流し、「一人ひとりが、責任をもって働くことで、周囲の人の生活も、自分の生活も成り立っている」と気付いたことでしょうか。

生徒にとっても私たち教職員にとっても、たいへん貴重な機会となりました。この2日間の経験が、近い将来、職業選択をする際に、何らかの形で生かされることを、心から期待しています。ご協力いただいた全ての方に、心から感謝申し上げます。本校の生徒が、地域で、社会で、責任を持って活動できる大人になれるように、引き続き支援してまいります。